

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

— 『おはよう！』の魅力—

NO. 36



「おはよう！」「おはようございます」って毎朝何回言うのでしょうかね。数えたことはありませんが、朝、出会う人の数だけ言うはずですから、なかなかの回数です。「おはよう！」の挨拶を繰り返すたびに、自分の窓が開いていく感じがしませんか？ 今日か明日も、いい朝にしたいですね。

ところで、「おはようございます！」の挨拶って、何時までなんでしょうね？いろいろ調べてみるとおもしろいですよ。その人の体内時計にもよるようですが、どうやら、あんずで朝、子ども達を迎える時間(10時～10時半)くらいが、ちょうどよい節目のようです。みなさんはどうですか？

さて、子ども達の中には、自分から「おはようございます！」と言えるようになった子もいれば、声をかけられてから返してくる子もいます。まだ言えないけれど、ニッコリ微笑んで、ペコリと頭を下げてくれる子、こちらからのハイタッチに返してくれる子、「“おはよう”の挨拶はギュってしてくれることでしょ」と身体を近づけてくる子、“見てないよ”って、全くこっちを見ない挨拶をしてくれる子。まあ挨拶はそれぞれですが、“はじまるよ！”のメッセージがどの子にもあります。放デイの子ともなると、さすがに挨拶は身に付いています。様々な出会いと経験をしてきた風格を感じます。

挨拶って、必ず成立するキャッチボールですね。「おはよう！」に返えない人は、まずいないでしょう。他の挨拶(「こんにちは」「さようなら」「いただきます」…)もそうですが、99%は返ってくると思います。必ず返事がくるのですから、こんなに素敵なコミュニケーションはありません。ないがしろにはできませんね。いろいろな挨拶の中で、特に「おはよう！」には、相手への親しみ感が反映されているそうです。出会う人や場所によっては「おはようございます」まで言いますし、フレンドリーな相手には「おはよう！」の言い方も変わってきます。言い方だけでなく、きっと、態度や表情も変わると思います。一緒に過ごす時間が長くなってくると、ひとり一人、朝の出会いに味が出てくるのは、そのせいですね。

育てたいことはたくさんあります。“できること”“わかること”を少しでも増やしていきたいですし、いつでも、どこでも、誰とでも、楽しく過ごしたいですね。子どもに今何をしたらよいのか、こうしている間にも何かしなければならぬのかな…と、焦る気持ちもあるかと思います。でもね、普段していることの中に大事なことって込められているものです。もしかしたら、「おはよう！」に、その糸口があるのかもしれない。確かに、あんずの朝の玄関先の光景は、とても魅力的です。たくさんの方のいろいろな姿があり、育ちを確かめられる瞬間だなと思います。放デイの子達も、毎朝どんな「おはよう！」から始めているのでしょうか？放課後のあんずでの「ただいま！」「おかえり！」に、きっと表れていると思います。

私も、「おはよう！」「おはようございます！」と声をかける一瞬前に、子どもの顔を見ます。“今日はどんな出会いかな？”って一緒に感じたいですから。そして、気を付けていることがもうひとつ。ゆっくり言葉にして、語尾伸ばして、「おはようございま～す！」自分自身が落ち着くんです。「さあ、始めよう！」ってね。(R1. 5) K

